



2023年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月5日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高宮 満
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務担当 (氏名) 富田 たくみ TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 2023年8月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年11月期第2四半期の連結業績（2022年12月1日～2023年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第2四半期	220,382	6.2	6,846	△51.9	7,552	△49.5	4,797	△46.0
2022年11月期第2四半期	207,523	4.3	14,241	△1.8	14,964	△1.4	8,889	△7.6

（注）包括利益 2023年11月期第2四半期 3,943百万円（△72.3％） 2022年11月期第2四半期 14,223百万円（2.3％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第2四半期	34.51	—
2022年11月期第2四半期	63.95	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第2四半期	406,889	295,193	65.7
2022年11月期	403,384	294,623	66.4

（参考）自己資本 2023年11月期第2四半期 267,441百万円 2022年11月期 267,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	20.00	—	27.00	47.00
2023年11月期	—	23.00	—	—	—
2023年11月期（予想）	—	—	—	27.00	50.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年11月期の連結業績予想（2022年12月1日～2023年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	447,000	3.9	14,000	△45.0	15,800	△42.0	8,500	△47.0	61.15

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年11月期2Q	141,500,000 株	2022年11月期	141,500,000 株
2023年11月期2Q	2,496,630 株	2022年11月期	2,495,894 株
2023年11月期2Q	139,003,747 株	2022年11月期2Q	139,004,595 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営環境は、国際的な穀物・エネルギー相場が高値で推移していることに加え、高病原性鳥インフルエンザ感染拡大の影響を受け、依然として厳しい状況が続いています。このような環境において、国内では市場担当制を活かしお客様の多様化するニーズに対応するとともに、収益性の高い体質づくり、新たな価値提案の実現に向けて取り組んでいます。海外では、引き続き中国・東南アジア・北米を中心にKEWPIEブランドの浸透を加速させ、成長ドライバーとして拡大を進めています。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、業務用で鶏卵価格の高騰により相場連動するタマゴ商品の販売価格が上昇したことや、海外での東南アジアや北米の安定成長により増収となりました。営業利益は、主原料およびエネルギー・一般原資材の高騰影響を強く受けたことにより減益となりました。経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の減少により減益となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
売上高	207,523	220,382	12,859	6.2%
営業利益	14,241	6,846	△7,395	△51.9%
経常利益	14,964	7,552	△7,412	△49.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,889	4,797	△4,092	△46.0%

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	85,691	87,244	1,553	1.8%
業務用	75,889	81,436	5,547	7.3%
海外	29,819	34,431	4,612	15.5%
フルーツ ソリューション	8,404	8,324	△80	△1.0%
ファインケミカル	5,048	5,687	639	12.7%
共通	2,670	3,257	587	22.0%
合計	207,523	220,382	12,859	6.2%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	7,444	4,448	△2,996	△40.2%
業務用	4,137	1,359	△2,778	△67.2%
海外	4,097	3,474	△623	△15.2%
フルーツ ソリューション	275	190	△85	△30.9%
ファインケミカル	505	△128	△633	—
共通	673	718	45	6.7%
全社費用	△2,892	△3,216	△324	—
合計	14,241	6,846	△7,395	△51.9%

<市販用>

- ・調味料の価格改定による単価上昇等で増収
- ・主原料高騰等による影響を受け減益

<業務用>

- ・調味料の価格改定効果やタマゴ商品の販売価格が鶏卵相場高騰により上昇し増収
- ・主原料高騰等による影響を受け減益

<海外>

- ・東南アジアや北米が堅調に推移し増収
- ・中国にて新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け減益

<フルーツ ソリューション>

- ・食品メーカー向けの販売減少や原資材高騰影響を受け減収減益

<ファインケミカル>

- ・通信販売が好調に推移し増収となったものの、広告宣伝の強化や原料販売でのコスト増等により減益

<共通>

- ・食品メーカー向け製造機械の販売増加や販管費の削減により増収増益

(2) 財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、4,068億89百万円と前連結会計年度末に比べ35億5百万円増加
主に現金及び預金の減少、商品及び製品、原材料及び貯蔵品、投資有価証券の増加による
- ・負債は、1,116億96百万円と前連結会計年度末に比べ29億35百万円増加
主に支払手形及び買掛金の増加、流動負債のその他に含まれる未払金の減少、固定負債のその他の増加による
- ・純資産は、2,951億93百万円と前連結会計年度末に比べ5億69百万円増加
主に利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加、為替換算調整勘定の減少による

◇ キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、614億96百万円と前連結会計年度末に比べ38億39百万円減少
各キャッシュ・フローの状況
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の増加、棚卸資産の増加、仕入債務の増加、補償金の受取り、法人税等の支払いなどにより116億70百万円の収入
(前年同期は133億1百万円の収入)
投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得、無形固定資産の取得による支出などにより100億72百万円の支出
(前年同期は75億34百万円の支出)
財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより40億88百万円の支出
(前年同期は139億2百万円の支出)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の経営環境を勘案し、2023年4月6日に公表しました2023年11月期の連結業績予想を以下の通り修正しました。依然として、高病原性鳥インフルエンザの感染再拡大などの懸念がありますが、現時点で可能な範囲で見通しを織り込んだ結果、売上高が前回公表予想を上回る見通しです。

セグメント別の修正計画については、「2023年11月期 第2四半期決算補足説明資料」1ページに記載しています。なお、配当予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,825	54,056
受取手形及び売掛金	59,414	60,525
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	20,867	24,752
仕掛品	2,659	2,262
原材料及び貯蔵品	13,551	14,790
その他	3,524	4,153
貸倒引当金	△115	△238
流動資産合計	167,726	170,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	162,131	162,712
減価償却累計額	△97,130	△99,231
建物及び構築物（純額）	65,001	63,481
機械装置及び運搬具	153,551	154,034
減価償却累計額	△111,171	△112,301
機械装置及び運搬具（純額）	42,379	41,733
土地	30,529	30,488
建設仮勘定	3,446	3,449
その他	18,768	18,754
減価償却累計額	△13,075	△13,315
その他（純額）	5,693	5,439
有形固定資産合計	147,050	144,590
無形固定資産		
のれん	364	273
その他	15,274	15,985
無形固定資産合計	15,639	16,259
投資その他の資産		
投資有価証券	45,633	47,768
退職給付に係る資産	18,656	19,104
その他	8,798	8,959
貸倒引当金	△119	△94
投資その他の資産合計	72,969	75,737
固定資産合計	235,658	236,587
資産合計	403,384	406,889

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,051	35,913
短期借入金	3,058	17,966
未払法人税等	2,157	2,554
引当金	1,643	2,577
その他	25,342	21,608
流動負債合計	65,252	80,620
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	16,070	927
退職給付に係る負債	2,840	2,992
資産除去債務	267	269
その他	14,330	16,886
固定負債合計	43,508	31,076
負債合計	108,761	111,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	28,634	28,635
利益剰余金	203,515	204,560
自己株式	△5,840	△5,842
株主資本合計	250,413	251,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,348	10,232
繰延ヘッジ損益	△1	52
為替換算調整勘定	5,911	3,757
退職給付に係る調整累計額	1,985	1,941
その他の包括利益累計額合計	17,244	15,984
非支配株主持分	26,965	27,751
純資産合計	294,623	295,193
負債純資産合計	403,384	406,889

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
売上高	207,523	220,382
売上原価	144,552	163,380
売上総利益	62,970	57,002
販売費及び一般管理費	48,729	50,155
営業利益	14,241	6,846
営業外収益		
受取利息	107	220
受取配当金	234	250
持分法による投資利益	439	425
その他	306	363
営業外収益合計	1,088	1,259
営業外費用		
支払利息	123	204
その他	241	348
営業外費用合計	365	553
経常利益	14,964	7,552
特別利益		
投資有価証券売却益	252	398
受取補償金	0	249
受取和解金	—	167
固定資産売却益	5	3
特別利益合計	258	818
特別損失		
固定資産除却損	482	276
減損損失	4	231
その他	106	211
特別損失合計	593	718
税金等調整前四半期純利益	14,628	7,652
法人税等	4,554	2,100
四半期純利益	10,073	5,552
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,184	754
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,889	4,797

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	10,073	5,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△730	881
繰延ヘッジ損益	54	61
為替換算調整勘定	4,105	△2,261
退職給付に係る調整額	467	△51
持分法適用会社に対する持分相当額	252	△238
その他の包括利益合計	4,149	△1,608
四半期包括利益	14,223	3,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,949	3,537
非支配株主に係る四半期包括利益	2,273	405

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,628	7,652
減価償却費	7,857	8,218
減損損失	4	231
のれん償却額	96	91
持分法による投資損益 (△は益)	△439	△425
引当金の増減額 (△は減少)	685	1,079
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	85	160
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△900	△447
受取利息及び受取配当金	△342	△470
支払利息	123	204
投資有価証券売却損益 (△は益)	△252	△398
受取補償金	△0	△249
受取和解金	—	△167
固定資産除売却損益 (△は益)	479	274
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,219	△1,385
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,354	△4,913
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,503	2,999
未払金の増減額 (△は減少)	△1,859	△1,827
その他	59	884
小計	18,156	11,509
補償金の受取額	—	1,661
和解金の受取額	—	167
利息及び配当金の受取額	484	630
利息の支払額	△121	△100
法人税等の支払額	△5,217	△2,197
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,301	11,670

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額（△は増加）	—	△1,000
有形固定資産の取得による支出	△5,428	△7,926
無形固定資産の取得による支出	△2,233	△1,265
投資有価証券の取得による支出	△109	△1,287
投資有価証券の売却による収入	410	757
短期貸付金の純増減額（△は増加）	71	△68
長期貸付けによる支出	△55	△44
長期貸付金の回収による収入	63	0
定期預金の預入による支出	△1,038	△1,372
定期預金の払戻による収入	1,141	2,345
その他	△357	△210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,534	△10,072
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	495	△200
長期借入れによる収入	15	—
長期借入金の返済による支出	△10,158	△142
非支配株主からの払込みによる収入	—	1,044
配当金の支払額	△3,753	△3,753
非支配株主への配当金の支払額	△652	△669
自己株式の取得による支出	△1	△1
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	441	—
その他	△289	△365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,902	△4,088
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,900	△1,348
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△6,234	△3,839
現金及び現金同等物の期首残高	66,703	65,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,468	61,496

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

米国会計基準A S U第2016-02号「リース」の適用

米国会計基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より米国会計基準A S U第2016-02号「リース」を適用しています。これにより、リースの借手は、原則すべてのリースについて資産および負債を認識しています。本会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

なお、本会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年12月1日 至 2022年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位：百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	85,691	75,889	29,819	8,404	5,048	2,670	207,523	—	207,523
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	85,691	75,889	29,819	8,404	5,048	2,670	207,523	—	207,523
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	392	2,451	1,000	108	165	5,870	9,988	△9,988	—
計	86,083	78,340	30,819	8,512	5,213	8,540	217,511	△9,988	207,523
セグメント利益	7,444	4,137	4,097	275	505	673	17,134	△2,892	14,241

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,892百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれていません。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	87,244	81,436	34,431	8,324	5,687	3,257	220,382	—	220,382
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	87,244	81,436	34,431	8,324	5,687	3,257	220,382	—	220,382
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	510	2,307	513	161	182	6,020	9,695	△9,695	—
計	87,755	83,744	34,944	8,485	5,869	9,278	230,077	△9,695	220,382
セグメント利益 又は損失（△）	4,448	1,359	3,474	190	△128	718	10,062	△3,216	6,846

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△3,216百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。